

**授業概要**

持続可能な経済社会を実現するために、企業による環境に配慮した経営（環境経営）は、重要な役割を果たします。環境経営にかかわる知識は、これから先の大学での勉学はもちろん、就職活動や社会人として活躍するためにも必要不可欠です。本授業では、脱炭素時代の環境経営に関する専門知識と最新動向を体系的にわかりやすく講義します。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション：授業内容の全体像と成績評価、注意事項
第 2 回	地球温暖化の仕組みと気候変動
第 3 回	脱炭素を目指す国際的仕組みと SDGs
第 4 回	地球温暖化対策推進法とエネルギー基本計画
第 5 回	温室効果ガス排出量の算定と報告制度
第 6 回	環境経営情報の入手とその分析評価方法
第 7 回	脱炭素時代の環境経営の特徴と課題
第 8 回	中間まとめ（課題提出あり）
第 9 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（1）電力業
第 10 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（2）鉄鋼産業
第 11 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（3）電機産業
第 12 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（4）自動車産業
第 13 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（5）食品産業
第 14 回	ケーススタディ：脱炭素時代の環境経営（6）金融業
第 15 回	期末まとめ（課題提出あり）
第 16 回	期末試験

**到達目標**

本授業は、受講生の皆さんが

- （1）脱炭素時代の産業変革と企業経営に関する専門知識と最新事情を理解できる
  - （2）インターネットを活用してグループメンバーと協力しながら関連する企業事例を調査できる
  - （3）自らの言葉でそれに関する説明と見解を発表できる
- の3つを目標としています。

**履修上の注意**

本講義はグループワーク型アクティブラーニング授業です。毎回、4人程度でチームを作り、研究課題に取り組みます。グループワークを通して、環境経営の専門知識に対する理解が深まり、企業の環境経営情報の活用にも自然と慣れていくでしょう。これから先、大学生・社会人として求められる環境保全と企業経営活動にかかわる情報収集能力、聞く力、話す力、積極性、協調性と責任感が養われることを期待しています。

**予習・復習**

- ・予習：授業計画に沿って、新聞や企業 Web サイト等を活用して適宜に予習しましょう。
- ・復習：授業終了後、配布プリント等を活用して理解を深めましょう。

**評価方法**

期末試験：55%      グループワークの参加とフィードバックシートの提出：45%

**テキスト**

指定教科書はありません。毎回、スライドを映して講義し、授業プリント等を配布します。